

平成21年度当初予算 総額392億円

一般会計前年度比2.7%増、基金取り崩しは5億円

3月議会で決された対馬市の平成21年度当初予算についてお知らせします。

平成21年度の予算規模は、一般会計が前年度比2.7%増の283億2,500万円で、11の特別会計を併せると前年度比1.5%増の総額391億8,307万6千円となっています。

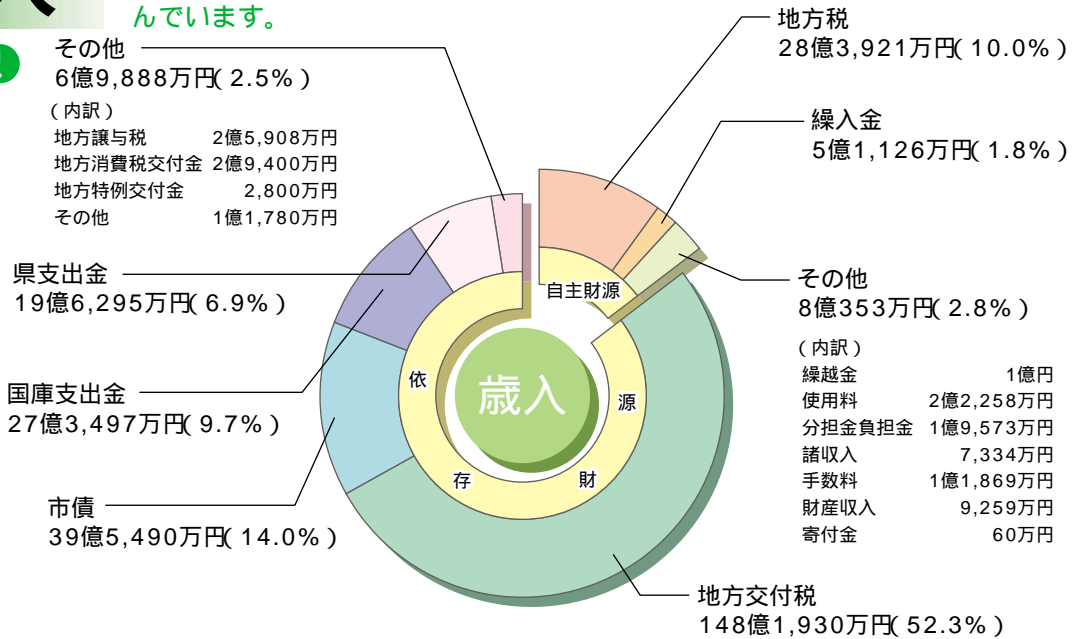
平成20年度の国の第2次補正に伴う地域活性化・生活対策臨時交付金事業として、ハード事業2億200万円、ソフト事業1億8,200万円が計上されていることが増額の要因のひとつとなっています。

なお、昨年度の当初予算は市長改選に伴い、政策的経費を極力抑えて義務的経費を中心に編成された骨格予算であったため、市長選挙後の6月補正後と比較すると一般会計予算は2億770万円増(0.7%増)となりました。

歳入

一般会計の歳入に占める自主財源は41億5,400万円で、全体の14.6%で、自主財源の柱である市税は28億3,921万円(対前年度比1億7,393万円減、5.8%)と見込んでいます。

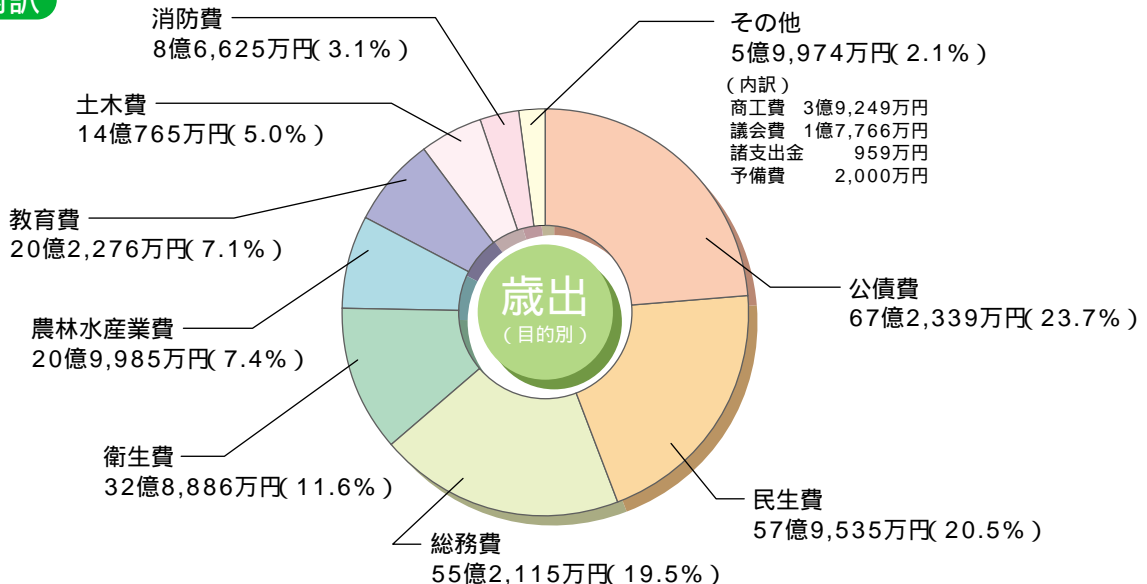
歳入内訳



歳出(目的別)

歳出で前年度より増加したのは、農林水産業費20億9,985万円(5億1,703万円増、32.7%)、衛生費32億8,886万円(4億375万円増、14.0%)などで、減少額が大きいものは、公債費67億2,339万円(3億5,298万円減、5.0%)、総務費55億2,115万円(9,954万円減、1.8%)などとなっています。

歳出内訳



平成21年度一般会計の主な使いみち

総務費

移動通信用鉄塔整備事業 (3基地局：上槻、佐保、唐舟志)	9,660万円
CATV施設整備事業 (I P告知端末、宅内配線工事)	14億1,146万円
ジェットfoil航路再生支援事業補助金	2,500万円
基金積立(4基金)	5億884万円

民生費

児童手当費	4億3,347万円
生活保護費	14億6,390万円
社会福祉協議会補助金	1億1,953万円
後期高齢者医療広域連合負担金	3億4,427万円

衛生費

斎場建設事業(仮称：北部斎場)	3億1,090万円
ごみ処理関連経費	8億6,451万円
し尿処理関連経費	4億8,293万円
合併処理浄化槽設置整備事業補助金	3,270万円
長崎県病院企業団負担金	6億7,290万円

農林水産業費

イノシシ等有害鳥獣対策事業 (防護ネット、防護柵補助他)	4,614万円
対馬しいたけ復活プラン推進事業 (大型生産団地、種駒補助、販路拡大他)	3,215万円
林道整備事業	5,857万円
漁業後継者対策事業補助金	860万円
漁港整備事業	4億428万円

商工費

消費拡大流通地域振興促進事業 (地域商品券)	2,000万円
島観光物産協会補助金	2,100万円
観光施設管理等委託料	9,715万円

土木費

市道久田日掛線改良事業	1億円
市道赤島線改良事業	1億円
市道大船越循環線改良事業	8,500万円
河川維持補修工事	160万円
厳原港国際ターミナル整備事業	1億3,300万円
まちづくり交付金事業	1億1,404万円

消防費

消防ポンプ自動車等購入	2,940万円
消火栓設置負担金	1,240万円
消防団運営費補助金 (102分団、団員1,790人)	2,810万円

教育費

通学バス運行委託料	1億650万円
学校施設維持補修工事	1,464万円
文化財保護関連経費	7,252万円
体育協会補助金	2,000万円
スポーツ活動振興補助金	800万円

特別会計

特別会計とは、特定の事業を行う場合、その事業だけに特定の歳入を充てるため、一般会計と区別している会計です。本市には、次の11の特別会計があります。

会計名	予算額	対前年度増減額	対前年度増減率
診療所特別会計	3億5,313万円	2,953万円	9.1
国民健康保険特別会計	53億550万円	1億680万円	2.1
老人保健特別会計	1,303万円	3億8,244万円	96.7
後期高齢者医療特別会計	3億1,637万円	5,004万円	13.7
介護保険特別会計	30億2,432万円	1億5,832万円	5.5
介護保険地域支援事業特別会計	1億1,595万円	209万円	1.8
特別養護老人ホーム特別会計	4億7,952万円	2,079万円	4.5
簡易水道事業特別会計	11億4,225万円	7,920万円	6.5
集落排水処理施設特別会計	2,360万円	260万円	12.4
旅客定期航路事業特別会計	3,596万円	463万円	14.8
風力発電事業特別会計	4,846万円	1,486万円	44.2
合計	108億5,808万円	1億7,207万円	1.6

企業会計(水道事業)

区分	予算額
収益的収入	2億4,888万円
収益的支出	2億3,586万円
資本的収入	354万円
資本的支出	1億4,425万円

企業会計とは、地方公営企業として、一般会計とは独立して運営します。運営に関する費用は、その事業の活動による収入を充てます。

収益的収入では黒字ですが、資本的収入での赤字額は当年度分損益勘定留保資金などで補てんして運営します。

千俵蒔山に春よこい



3月8日、上県町佐護地区の「千俵蒔山」で野焼きが行われました。

地域住民や消防団、ボランティアなど約100人が参加して行われ、標高287メートルの山頂部から枯れ草に火が付けられると、炎は勢いよく燃え広がり、約5ヘクタールを焼き払いました。

野焼きは、佐護地区（平山美登区長）が、かつての草原景観を取り戻そうと、昨年、40年ぶりに復活させたものです。昭和22年に約100ヘクタールあった草原は、植生の遷移により現在7.4ヘクタールしか残っておらず森林化が進んでいます。この野焼きで、草原が再生し植物や小動物が増え、ツシヤマメネコの生息環境の改善につながります。

（この事業は、「全国モーターポート競走施行者協議会」の助成事業です。）

3月7日、美津島町のショッピングセンターパル21店舗前で、対馬地区漁業士会（会長吉村厚さん）が「つしまん魚市」を開きました。アジやサバ、ヒラス、タイ、アワビ、ナマコなど対馬で捕れた新鮮な魚介類が、通常の価格より安く売られるため、多くの人が詰めかけました。

今年で2回目を迎えた魚市には、島内ではなかなか流通しない穴子やヨコワも売られ、午前10時の販売開始からわずか10分間でほぼ完売するほどの大盛況でした。

吉村会長は、「地元でも食べられない魚を少しでも安く、美味しい魚を提供できることができ、これからもっと地産地消が広がれば」と話してくれました。

鮮度も味も一級品



全国大会で最優秀賞を受賞



笑顔で受賞を喜ぶ緒方さんと高田さん（右）

対馬高校の国際文化交流コースで、韓国語を学んでいる高田千晶さん（1年）、緒方美里さん（1年）が3月21日、東京で開催された「第2回・話してみよう韓国語高校生大会（スキット部門）」で、最優秀賞を受賞しました。全国から予選を勝ち抜いた計9組18人が、身ぶり手ぶりを交え2人組で寸劇を行い、表現力などを競うスキット部門に参加しました。審査員から会話の発音もきれいで、全体的にまとまりがよく高い評価を受けた2人は、「自分たちより発音が上手な人がいて、まさか、審査発表で最後に名前が呼ばれるとは」と驚きを語ってくれました。

県内事業者の新商品の開発意欲を促進し、ふるさと産業の振興を目指し、新しい特産品を審査する第40回長崎県特産品新作展の表彰式（長崎県主催）が、3月3日、県庁で行われ上対馬町の「ももたろう（代表辻清美さん）」の「あなごつみれ鍋セット」が農林、水産加工部門の最優秀賞に輝きました。

対馬産の天然あなごを使ったつみれは、食感がよく、鰹節と昆布でとっただしとの相性も抜群で、食べる人の心も満たしてくれる一品です。県内では、同部門やお菓子部門から60点が出品されました。

辻さんは「もっと皆さんが、あなごの美味しさを知ってほしい、商品化まで2年半、苦労しました」と話してくれました。

最優秀賞を受賞「あなごつみれ鍋セット」



受賞を喜ぶ辻さん

一人だけの卒業式

3月17日から19日にかけて卒業証書授与式が島内で行われ、小中学生714人（小学生340人、中学生374人）が、巣立ちました。

久田小学校内院分校（境良朗校長・児童6人）では、一人だけの卒業証書授与式が18日に行われ、平間美里さんが、内院小学校が分校になって初めての卒業生になりました。

式には、児童、先生、保護者や住民が出席し、在校生5人が、「いつもニコニコ笑顔の美里姉ちゃん、リーダーシップをとってみんなを引っ張ってく



別れのことばを述べる美里さん（内院分校）

お母さんと一緒に見送られる拓也くん
（久和小学校）



れたおかげで、楽しい学校生活ができました」と「別れの言葉」を述べると美里さんも「みんなで食べた給食、毎日遊んだ昼休み、みんな仲良しです」と涙ながらに応え、先生や後輩たちに見送られ学舎を後にしました。美里さんは、「将来、キーキ職人が幼稚園の先生になりたい」と夢を膨らませています。

また、19日には、久和小学校（林田英治校長・児童5人）で卒業証書授与式が行われ、一人だけの卒業生、久和拓也くんが卒業証書が授与されました。在校生4人からは「いままでと変わらずやさしく、勇気のある中学生になって」と激励され、拓也くんは「多くの方々の温かい心と、期待に応えるよう勉強や運動を頑張ります」と力強く誓いました。

豆酏の里ロード・レース大会

3月8日、第22回対馬豆酏の里ロード・レース大会が開催され433人の参加者で賑わいました。

大会は、豆酏中学校前をスタート、豆酏集落を抜け、その周辺の道路を通る4.4kmと8.0kmのコースで行われました。

早春を迎えた豆酏地区の豊かな自然を楽しみながら自分のペースで走る参加者や、おしゃべりをしながらウォーキングを楽しむ家族連れなど、皆さん爽快な汗を流していました。



【大会結果】

各部門3位まで、敬称略

8 km 《一般》	男子	波田裕一郎30分46秒	小野昌宏32分43秒	江口祥平35分12秒
	女子	中村さつき40分57秒	樋口浩子59分21秒	原佐代美59分33秒
4.4km 《一般》	男子	法山展廣15分46秒	國分美喜雄18分59秒	平山貴之19分45秒
	女子	島本美和25分14秒	小宮千代28分24秒	八坂香代29分05秒
《中学生》	男子	松原弘輝15分01秒	川邊健太郎15分27秒	佐藤航大16分24秒
	女子	川上綾香18分19秒	狩倉法子24分36秒	小島柚香24分38秒
《小学生》	男子	井上雄太16分00秒	三浦健太16分02秒	佐護賢也17分07秒
	女子	早田朱夏18分37秒	奥田零果20分07秒	山瀬未来20分08秒